

講座の感想

みなさんから寄せられた

新しい目で楽しく写題を見つけたことが出来ました。

カメラから見ると、また違った景観の見方をするようになりました。

写真を撮るに当たっての心構え、伝えるもの、テクニック、すごく分かりやすく説明して頂き、今日一日で上手く写真撮影ができるような気分になった。

先生の説明がわかりやすく広角についても詳しく知れて良かった。フィールドワーク中の先生の説明も視点を新たにいただける点が多く勉強になりました。

写真を通して人の視点を観ると着目するところが大きく違うなと感じた。

わかりやすくご指導を頂き非常に良かったです。対象物を見よという勉強になりました。

影や雲との組み合わせで撮っている人、1つのものを大きく強調して撮っている人、大変参考になりました。

秋野先生のお話はあらためて勉強になりました。ふりかえりも良かったです。とてもおもしろかったです。

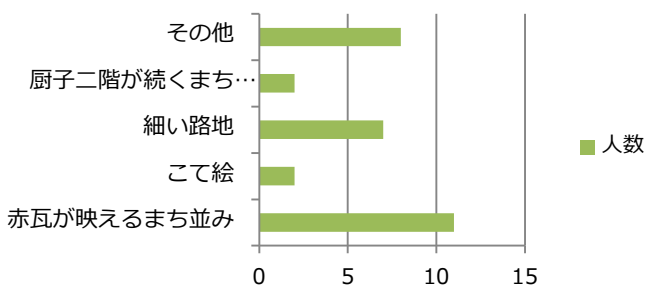
じっくりまち並みを見る機会ができて良かった。

初めて参加しましたが、現地での写真の撮り方等、わかりやすく説明して頂き、ゆっくり飯浦の地域を散策することができました。これから写真を撮るときに参考にしたいと思います。

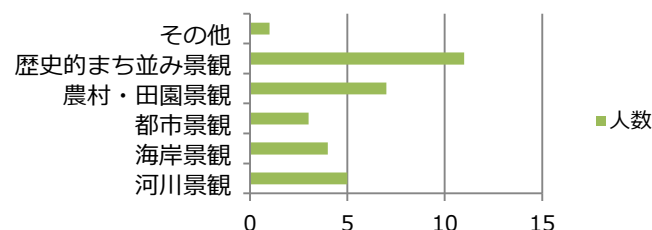
アンケート集計

ご協力ありがとうございました！！

飯浦地区で印象に残った景観（複数可）



今後、フィールドワーク講座を実施してほしい景観（複数可）



次回開催予定

歴史的まち並み景観！！

益田市景観フィールドワーク講座 ～第2回七尾地区～

- 日時：11月29日（日）
9：00～16：30（受付8：45～）
- 会場：益田地区振興センター
- 定員：20名（先着順）
- 詳細については、広報等でお知らせします。
- お問い合わせ
益田市建設部都市整備課
〒698-8650 益田市常盤町1-1
TEL：0856-31-0352
FAX：0856-31-1480
E-mail：toshi@city.masuda.lg.jp

フィールドワーク講座の様子を随時掲載！

益田市景観ブログ いいとこ、みつけた！
<http://blog.canpan.info/mkeikan>
景観行政団体益田市 facebook
<https://www.facebook.com/mkeikan>

益田市景観フィールドワーク講座 ～第1回 飯浦地区～

平成27年7月25日開催

益田市景観フィールドワーク講座の内容や感想などを、参加者のみなさんにお伝えします。

講座だより

景観フィールドワーク

平成27年度 第1号



○益田市景観フィールドワーク講座とは○

益田市は平成26年12月に「益田市景観計画」を策定しました。今後、この計画を活かしたまちづくりに、市民のみなさんと共に取り組んでいくためには、より多くの方に益田の景観について興味を持ち、その魅力を知っていただくことが大切だと考えます。そこで、これまでとは少し違った景観へのアプローチとして、写真家の秋野深（あきの じん）氏を講師に、カメラを持ってまちを歩き、興味を持った景観を思い思いに撮影する「景観フィールドワーク講座」を開催しました。

日時：平成27年7月25日（土）

9：00～16：30

会場：小野地区振興センター

参加者：のべ16名



当日のプログラム

☆オリエンテーション☆

事務局からの景観フィールドワーク講座の説明の後、秋野先生よりフィールドワークでの撮影のポイント等を説明していただきました。



☆フィールドワーク☆

秋野先生にアドバイスを受けながら、興味を持った景観を思い思いに撮影していただきました。

☆ふりかえり☆

参加者みんなで写真を見ることで、他の人がどんな景観に興味を持ったのかを知ることができました。



☆閉会☆

今回の景観フィールドワーク講座の案内を行いました。アンケートでは、感想や今後フィールドワークを実施したい景観を書いていただきました。

平成27年度 益田市景観フィールドワーク講座 第1回目は漁村景観の飯浦地区！！

飯浦地区は、海の青と集落の屋根の赤、背景となる山々の緑との色彩の対比が美しい漁村景観のひとつです。

まずはじめに、事務局から景観フィールドワーク講座の趣旨説明を行いました。続いて、講師の秋野先生よりフィールドワークでの撮影のポイントや、観察することについて説明していただきました。その後、フィールドワーク実施場所の飯浦地区へ移動し、カメラを持てのまちあるきを開始しました。

フィールドワークは、午前中はオリエンテーションの実践として、秋野先生のアドバイスのもと、短い距離を参加者全員で歩きながら撮影しました。午後からは、各自で飯浦地区を自由に歩き、思い思いに撮影していただきました。

ふりかえりの時間では、秋野先生のコメントを交えながら、参加者のみなさんが撮影した写真をスライドに映していただきました。集落の中の細い路地、山の緑に映える赤瓦のまち並み、厨子二階と呼ばれる家並み、漁船、こて絵や蔵、生活の営みがにじみ出た生活景・・・同じ場所を歩いて撮影した写真ですが、参加者のみなさんが興味を持った景観は様々でした。

当日は、猛暑となりましたが、ご参加いただきありがとうございました。ぜひ、次回もご参加ください。





見つけた！飯浦地区の魅力ある景観！

フィールドワーク参加者が、飯浦地区のどんな景観に興味を持ち、魅力を感じてカメラを向けたのか、撮影した写真から分析していきます。

漁港・海岸



海岸線に沿って連なる家々の目の前に広がる日本海。すぐ背後には山の緑。ずらりと漁船が並ぶ、活気ある漁港の光景。

眺望景観

高台から見た、空と海の青と山の緑の中で映える赤瓦の集落。緑に囲まれた石段と、鳥居の向こうに見える赤瓦屋根の家。



赤瓦の家



集落の中の赤瓦屋根の家。よく見ると、それぞれの瓦に違いが見られる。それらが連なって赤瓦屋根の集落の景観を造っている。

こて絵・蔵



伝統あるこて絵や歴史を感じさせる蔵。こて絵のデザインは屋号や家紋が元になっている。

家並み・路地



「厨子二階」形式の建物が並ぶ歴史的なまち並み。集落の中には細い路地や石段、石垣が見られる。

八幡宮



山の上からまちを見守る八幡宮。石段を上り、二の鳥居をくぐると、三の鳥居との間に踏切がある。

川・水路



緩やかなカーブを描く川と、その川に沿って並ぶ家々。家と家の間には細い水路。水路沿いの道を歩いて行くと、トンネルが。

飯浦駅



高台にある今は無人の駅舎。緑に囲まれて佇むレトロな外観。懐かしさを感じさせる駅舎内。

生活景



そこに暮らす人々の生活がつくり出す景観。積まれた薪、家の前で魚や梅を干している風景、軒下に吊るされた玉ねぎなど。

寺



堂々とした黒瓦屋根の寺。山門に施された彫刻。境内に置かれた珍しい形の石。